

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

CREATE HOPE in the WORLD

世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー



2023-2024年度

会長/桑山卓也 幹事/内間三好 広報委員長/田尻幹夫

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/名古屋東急ホテル

〒460-0008 名古屋市中区栄4-6-8 TEL:052-251-2411

2023~2024年度方針

2023 July 12 親睦で育む自他共栄 奉仕の機会 今ここに 照一隅

NO. 2

例会報告

●第2434回例会 令和5年7月12日(水) 晴

●7月は母子の健康月間

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 85 (73) 名中 出席51名

出席率69.86%

●ビジター紹介

名古屋名東クラブ 野々部 英夫会長

名古屋東山クラブ 久野 洋一会長

荒川 正規幹事

●ゲスト紹介

米山奨学生 レーヒューテイエン君

●ニコボックス

「名古屋和合RCの皆様、本日は何卒宜しくお願ひ申し上げます。」名古屋名東RC 野々部 英夫会長
「大海さん、本日の卓話、愉快で楽しい為になる話、宜しくお願ひ致します。」

桑山 卓也会長、内間 三好幹事

「大海さん、本日の卓話、大変楽しみにしております。宜しくお願ひ致します。」

田尻 幹夫君、榎野 智之君

「先日は盛大な出版記念パーティーを開いていただきありがとうございます。」 近藤 東臣君

「先日は出版記念パーティー開催で大変お世話になりました。友情に感謝申し上げます。」 谷 喜久郎君

「先日は、本の出版祝賀会、誠にありがとうございました。」 安井 信之君

「入会させていただき、ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひいたします」 深谷 学君

本日のニコボックス 7件 27,000円

累計 16件 164,000円

桑山卓也会長挨拶

皆さんこんにちは、本日のゲストスピーカーとしてお迎えいたしました一般社団法人 中部航空宇宙産業技術センター産業支援部長 大海 浩さん、卓話を楽しみにしております。

そして、名古屋名東クラブ野々部英夫会長さん、名古屋東山クラブ久野洋一会長さん、荒川正規幹事さん、米山奨学生のレーヒューテイエン君、本日の例会にたくさんの方にお越しいただきましてありがとうございます。今年度もよろしくお願ひ致します。

暑い日が続いておりますが、皆様どうぞお身体を大切に、ロータリー活動にご協力いただけましたら幸いです。

卓話

「航空機(宇宙機)産業界のアフターコロナ」
～今後!中・小企業はどの様に対応すべきか?～



C-ASTEC (一社)中部航空宇宙産業技術センター
産業支援部長 大海 浩様

今後の航空機(宇宙機)業界の市場について

①エアライン需要の予想

・国際航空運送協会(IATA)による最新見通しは、21年航空旅客は約28億人と回復傾向にあると予想されるが、コロナ以前の19年比で約4割減以上。

しかし、24年までに19年の水準に戻るとみるものの、不確定要素が多く!大きく下振れされる可能性も考えられる。(イギリス・ドイツ・フランス・韓国・インド・アフリカなど諸外国の再感染)

・航空機旅客の利用回復策実施を、早急な実施が必要とされる。ワクチンパスポート(抗体検査証明)、隔離期間の短縮、「GO TO トラベル」の実施。

☆SARSの際は、翌年時には95%まで回復した。今回は、長期化が予想される。(国家間の人流の制限強化)

②機体メーカーの予想

・①にて航空機の使用先の推移(黒字化)により、機体メーカーの新機材需要に繋がる。しかし、その恩恵に預かるのは、約1年後と推測される。今回は、非常に予測が難しい状況。

・機体メーカーが、約1年後であればクラスターについては、約3年~5年後となる。月産製造機体数が、2ヶタ後半台に回復する必要がある。しかし、実情は月産機数は2桁前半台に留まっている。

※上記に関する関連資料は、別紙参照:JADC.経済産業省

中小企業の今後の対応について

①航空機用エンジン(機体開発同様)

・新規製造機材の減少により、必然的に減少する。しかし、MROの関係で各交換部品については、極端な減産には至っていない。

・新規エンジンの開発による、技術参入・需要が!
→オンリー1技術。

②SDG's対応の流れ

・CO2削減(ノンカーボン社会)への対応。

→低燃費、航続距離の延長への技術開発(エンジンの軽量化:素材開発etc)。

→化石燃料からバイオ燃料・水素燃料、電動化。

→機体開発:軽量化などに伴う、素材開発・機体形状etc。

③E/Vtol(空飛ぶ車・バイク等)の技術・研究開発

・近未来の航空機の技術開発同様に、電動化による近距離輸送。

・現在独自の法整備(2022年施行予定10-9)、製造・利・活用に関する安全・安心な基準。

・人材の育成。

④宇宙ビジネスについて

・今後の市場予測

→国際市場規模/40兆円(\$366B)⇔2019年

衛星サービス事業/13.5兆円

地上設備/14.3兆円

非衛星サービス(政府予算・商用有人飛行)/10.5兆円

衛星製造・ロケット産業/1.9兆円 製造業界

今!中小企業は何をすべきか?

①自社の財務(金)、設備(物)と技術力(人)を再分析する。

・人的要素→技術力・開発力・分析力(研究心)etc。

・設備の対応範囲→現在の設備で何が出来るか。

・長所・短所を知ること、どの分野を市場開拓するか
→可能性。

・資金力とのバランス→自己資本と投資計画。

②市場調査の必要性!

・今どの産業カテゴリーの市場を狙うか。

・自社技術で対応能力があるか。

・市場のニーズに答えられるか。

③どんな手段が自社規模にあっているか?

・現在の取引先の窓口調査(他にどんな市場と取引されているか)。

・自社で、情報取得のためのネットワークを有しているか。

・関連市場に詳しい人材が居るか。

・市場に太いパイプを持っている商社と面識・取引などがあるか。

・イベントなどの参加にてPRしているか。

・電子媒体などを利用して自社のPR。

・HPの表現の変革!現在の時代に合った表現と内容に。

④多角的な視野で新たな市場と自社を対比しているか?

ご聴講ありがとうございました。中・小企業の目線で考え・支援いたします。お問い合わせ・ご質問等はお気軽に!

